

「この国のかたち」を決めるのは国民です。周りを傍観していないで、英知の結集である日本国憲法の血肉化に主体的に取り組まなければなりません。日本国憲法には、国のあり方や統治の仕組み、国民の人権など、人類の長い歴史の中で
憲法に命を吹き込む
培われた近代民主主義の思想と理想が詰め込まれていて、そこに描かれた通りの国家が実現するわけではありません。憲法の言葉は、国家を構成する人々が具体的なイメージを与えることで生きてくるのです。いまを生きる人たちが、その言葉を通して過去と向かい合い、将来を見据えることで憲法に命が吹き込まれます。(東京新聞 2/3 社説より)

憲法を暮らしに活かそう

平和なあやめ池学園南地域に みんなで遊べ憩える公園を

奈良市西部のあやめ池学園南地域の住民らが近隣公園(2区が標準)を設置するよう求める署名4593人分を1月25日、藤原昭市長に提出しました。

署名を提出したのは近隣公園をつくる会(代表世話人・吉川好胤氏)。同会は閉鎖したあやめ池遊園地の跡地利用計画では、公園面積が全体の4%に過ぎず、公園の整備が極端に遅れている同地域の環境を改善することはできないとし、昨年秋から署名にとりくんできました。合わせて同地域の蛙股池を公園として整備するよう求めました。

吉川氏らは「市西部のほかの丁目で設置されている街区公園が、あやめ池南1~4丁目、6丁目には一つもない」「子連れのお母さんが『公園デビュー』する公園もなく、子どもが安全に遊べる場所がほしい」と話しました。

藤原市長は「これだけの声があることをしっかり受け止め、検討したい」と答えました。(上の写真)



あやめ池周辺の歴史には、こんなことも！ だからこそ！！

- 昭和2年 : あやめ池南園の開発始まる。T型道路商店舗用地を開く。
- 昭和4年 : 炭酸鉄泉あやめ池温泉場開設。
- 昭和13年 : あやめ池温泉場にて応召軍人家族慰安会開催。
- 昭和14年 : 大軌(近鉄の前進)蛙股池に綾女橋架設。
- 昭和15年 : 戦時一色となりあやめ池遊園地に「近代兵器科学館」開設。
国威発揚のため150万人動員。蛙股池では「上陸作戦」展開。
- 昭和19年 : 蛙股池 海軍予科練生のカッター(軍艦の分身 短艇のこと)練習場となる。
- 昭和20年3月 : あやめ池厚生寮(現あやめ池小)に206名の大阪空襲被災者収容。
- 昭和20年10月 : あやめ池温泉を駐留米軍が慰安所(ダンスホール)として接收
- 昭和23年まで続く

※「あやめ池学園南 九条の会」は、2006年6月25日に結成され、代表世話人・事務局の体制を確立いたしました。

-----キリトリ-----

私は「九条の会」のアピールに賛同します。

住所 〒

氏名

電話/FAX

肩書き(所属団体、職業など)

E-mail

公表(ピラなどへの掲載)について

してもよい

できない

※どちらかにチェックを(Fax 0742-44-0416 まで)